

審議会等会議録（案）

審議会等の名称	令和 2 年度第 2 回山口市立図書館協議会
開催日時	令和 2 年 1 0 月 2 6 日（月曜日） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
開催場所	山口市役所別館 1 階 第一会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、吉村副会長、中村委員、大野委員、中原委員、坂田委員、原田委員、國弘委員、山口委員、橋本委員、井町委員
欠席者	山本委員
事務局	中央図書館長、小郡図書館長、秋穂図書館長、阿知須図書館長、徳地図書館長、阿東図書館長、中央図書館サービス担当副参事、中央図書館管理担当主幹、中央図書館サービス担当主幹
議題	1 委員の交代について 2 今年度事業の進捗状況について 3 図書館まつりについて（徳地・小郡・阿知須・中央） 4 その他
内容	○中央図書館サービス担当副参事 本日はお忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。 本日の進行を務めます副参事の村中と申します。よろしくお願いいたします。 山本委員さんがご欠席でございますが、「図書館条例施行規則 2 4 条」によりまして、委員の過半数のご出席がございますので会議の方は成立しているということをご報告させていただきます。 つづきまして、資料について確認をさせていただきます。 事前にお送りをしていると思いますけれども、今日、資料が無いという方がございましたら、事務局の方へお申し出くださいませ。 それと、今日、お帰りまでに配布しようと思っておりますけれども、第 1 回の会議の議事録を作成しています。それを今日この場で確認をすると時間がかかると思いますので、お持ち帰りいただきまして、1 週間から 1 0 日程度の間に訂正・修正するところがあれば、お知らせをいただければと思います。 それでは、早速でございますけれども、今、準備を中央図書館管理担当主幹がいたしました。録音を議事録作成のためにさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。 では、「図書館条例施行規則同じく第 2 4 号」によりまして、会長が議長となりますので、これからの議事進行を会長さんをお願いいたします。 ○安光会長 皆さん、おはようございます。 座ったままさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第をご覧くださいまして、今日の議事は3点でございます。「委員の交代」「今年度事業の進捗状況」「図書館まつりについて」ということでございます。

まず、最初に議題1の「委員の交代」について事務局からご説明をお願いいたします。

○中央図書館管理担当主幹

皆さま、おはようございます。

本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。

それでは、資料の方を、座らせていただいて、ご説明させていただきます。

資料の2ページをご覧くださいたいと思います。協議会委員さんの名簿を付けているところでございます。委員名簿をご覧くださいたいと思います。

第1回図書館協議会でも、お伝えをさせていただきましたとおりでございますが、市教研学校図書館部会の小学校の部会につきましては、コロナの影響等もございまして、部会の会議が開催をその当時まだしていなかったということで、委員さんが未定となっております。

このたび、上郷小学校の橋本先生を、新たに委員さんとしてお迎えをしておりますので、ご紹介をさせていただければと思っております。

橋本委員様、ひとことよろしくをお願いいたします。

○橋本委員

このたび、担当することになりました。小学校の図書館担当の理事をさせていただきます。橋本と申します。よろしくお願いいたします。

○安光会長

よろしくお願いいたします。

○中央図書館管理担当主幹

ありがとうございました。

以上でございます。

○安光会長

はい、どうもありがとうございました。

それでは、次の議題に入ります。

2つ目でございますけれども、「今年度（令和2年度）事業の進捗状況」ということでございます。会議の時間等もございますので、各館の特徴的な事業を中心に、簡潔にお話しをいただければと思います。

まずは、中央図書館長さんから、小郡・秋穂・阿知須・徳地・阿東と、それぞれの館長さんにコンパクトにお話しいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、中央図書館長さんお願いします。

○中央図書館館長

3ページをご覧くださいたいと思います。

中央図書館のコロナ対策ということで、出させてもらっています。大体、書いて

あるとおりですので、少しそれは省かせていただくのですが、施設関係のまず座席のところでございますけれど、対面する座席があるところは、間にパーテーションを作って、できないところ、例えば共同利用スペースとかは、椅子を除けたりしております。

共同利用スペースに関しましては、これは閉鎖しております。代わりの椅子を間引かせていただいておりますので、実質的には、「３２５」のうち「２８０」程度が中央図書館の席数になっていると思います。

それから、その下の方の「図書館入り口付近」というところでございますが、この目張りは、今は、しておりませんので、これが「５月１１日から」となっていますけれども、今は、していません。

それから、行事等でございますけれど、３月に、これは前年度になりますが、歴史講座「３５０人」でやったのですが、今年度は中止いたしました。

なお、「こどもワイワイ図書館」これも４月２６日でございますが、これも中止ということになっております。

その下でございますが、「おはなし会」に関しましては、５組程度という制限をしております。

「上映会」に関しまして、定数１００人のＣスタジオというところでございますが、これも半数の５０人ということで、減らしています。

「ブックスタート」に関しまして、今までは「ブックスタート体験会」のときに、読み聞かせとかをしていたのですが、今は「ブックスタートパック」をお渡しするだけということにしています。

これが、中央図書館の行っておりますコロナ対策の一環でございます。

つづきまして、４ページ・５ページに関してですが、４ページ、これは全図書館のことでございますが、臨時窓口を設置させていただいておりますので、その状況をこちらの方に出させていただいております。

もう１ページめくって、これが令和２年と令和元年度の実績比較ということになっております。ただ、令和元年につきましては「３月５日から３月２６日まで」を臨時休館ということにしまして、「２３日から２６日まで」は臨時窓口を設置しております。

もう一度申し上げますと、令和元年に関しましては「３月５日から３月２６日まで」を臨時休館にし、「３月２３日から２６日まで」の間、臨時窓口を設置していたという状況でございます。

令和２年に関しましては、「４月１３日から５月１７日まで」を臨時休館として、「５月１１日から５月１７日まで」は、臨時窓口を設置しております。

もう１度詳しく申し上げますと、令和２年は「４月１３日から５月１７日まで」が臨時休館で、「５月１１日から５月１７日まで」、臨時窓口を、その間開設したということになっております。

昨年との入館者の比較でございますが、表の通りに軒並みマイナスとなっております。

ますので、これはご確認していただければと思います。

貸出冊数におきましても軒並みマイナスになっておりますので、これも確認していただければと思います。

つづきまして、6ページでございます。中央図書館の主な取組の予定と進捗状況でございますが、中央図書館によりましては4通り、取組の予定ということで4点を挙げさせていただきます。

進捗状況でございますが、4月26日の「ワイワイ図書館」は、中止ということになっております。

利用層拡大の取組に関しましては、10月に有機野菜の野菜講座をやらせていただきまして、これは50名定員でやらせていただいたのですが、実際47名の方の参加がございました。

それから、その下ですけれども、10月4日に歴史講演会を行いまして、これも300席あるのですけれども、100席ということでやらせていただいたのですが、実質は86名の参加がございました。ライブラリーコンサートは昨日ありまして、48名の参加がございました。

その下の「まちじゅう図書館」に係ることに関しましては、6月から開催して、講座を7つ、これは大体20名程度でやらせていただきました。それから、企画系を2つという形でやらせていただきました。

今、「こども読書活動の推進」に関しましては、10月11日に、「よしながこうたく」さんという絵本作家をお呼びいたしまして、これも79名の参加がございました。

その他、保育園の配送サービスも試行。図書の定期購入、除籍、地域資料の収集など、その辺りを行っているというのが、事業進捗状況でございます。

以上が中央図書館の進捗状況でございます。

○安光会長

はい。それでは、続きまして小郡図書館お願いいたします。

○小郡図書館館長

小郡図書館でございます。よろしくお願いいたします。

コロナの感染防止対策等につきましては、中央図書館長が申した通りでございますが、市の対策本部また教育委員会、中央図書館の指示によって、随時行っているところでございます。

例えば、開館前・開館中の次亜塩素酸による拭き掃除、ソファ・椅子等の「減」等、随時実施しているところで、今も継続中でございます。

次に、6ページをご覧ください。左側の「令和2年度の主な取組み予定」から右側の「事業進捗状況」についてご説明いたします。

先ほど申しましたように「コロナ禍」において、中止となった行事もありますが、現在は感染症防止対策を講じながら、少し縮小して実施をしているところでございます。

そして、主な取組みといたしまして、①②③④とありますが、まず①「利用層拡大の取組」ですけれども、「図書館を飛び出してみよう」ということで、「鉢の子」さんが新山口駅でブックカフェを開催されております。

また、12月に「鉄道サミット」を開催しました。これもJR新山口駅と文化資料館等の協力を得まして、図書館だけでなく他の団体とも協力して、利用者層の拡大に努めているところでございます。

②の「子ども読書活動の推進」につきましては、定例おはなし会は、7月から実施をいたしました。小学校低学年向けの「図書館発見ツアー」なども実施いたしました。例年通りですが、中学校にティーンズ向け利用の案内の配布もいたしております。

そして、③の「他機関との連携強化」につきましては、去年あたりから計画を立てまして、今年度、実施にこぎつけました。

これは、小郡は交通の要衝ということで、人が集まりやすく図書館だけでなく他機関と連携を強化してイベント等を実施しているところでございます

まず、文化資料館の企画展示と連携した子ども向けクイズラリー実施しました。文化資料館は山頭火をメインに展示をしております。また、鉄道に関する資料もたくさんあります。そういったことで文化資料館主催の行事にこちらが便乗するという形で実施しました。

また、文化資料館の1部屋に、民具が展示されたコーナーがありますが、その民具を借りて図書館で、そういったものを実際に見ながら、子どもたちにお話しをしました。通常のおはなし会だけでなく、少し工夫したものを計画しているところでございます。

そして、保健センターにも協力をお願いしたのですが、残念ながら「マタニティサロン」は中止になりました。

④番目の「資料整備」ですが、これは備品として回転式文庫架を購入させていただきました。文学の棚に余裕ができたことから、書架に新刊本の帯を利用した案内などを設置いたしまして、利用者の方にも視覚的效果で本に興味を持ってもらおうと、そういった方向で利用者の拡大に努めているところでございます。

以上でございます。

○安光会長

はい。ありがとうございました。

それでは、引き続きまして、秋穂図書館よろしく願いいたします。

○秋穂図書館館長

はい。秋穂図書館でございます。よろしくお願いをいたします。

まず、コロナ対策についてでございますけれども、中央図書館さん、小郡図書館さんと同様に対応しているところでございます。

主な、今でも行っているという対策につきましては、椅子の間引きとか、電子機器の利用の制限とか、パソコンにつきましても3台ございますけれども、間を空け

て2台を利用というふうな形と、機器類等の机等と机・椅子、それから書架等の清拭等を定期的に行っているところでございます。また、今後どういうふうな形でコロナ対策ということが、出てくることかと思っておりますけれども、今から気温も下がってまいりますことから、かなり新型コロナウイルス自体の生存期間というのが長くなってくるといふ説もございますので、ある程度こういった対策は引き続き行いまして、利用者の方にも「マスク」それから「手指消毒」「うがい」等々の危機管理をしていただくということをお願いするというのが、継続的な対策かなというふうに思っております。コロナ対策につきましては以上でございます。

引き続きまして、事業の進捗状況についてでございます。6ページの一番下の段、秋穂図書館の段でございます。

まず、①の「多様なニーズに対応する図書環境づくり」ということでございますけれども、コロナの影響下でございまして、時期的に「3密」を伴う恐れがあるイベント的なものにつきましては、基本的には中止をいたしております。ただし、秋穂図書館まつりの本体行事自体は中止しておりますが、秋穂図書館におきましては、本年度、2010年8月1日の開館からちょうど10年ということで、これは何か少し記念になるものをしなければ良くないね、ということで記念企画展という形で、展示を主な形にして代替して行っております。これも「図書館友の会」秋穂さんをはじめとする開館前後の活動内容について当時の施工前の写真とか地域情報誌、それから図書館だより等の資料の展示という形で、「8月1日から8月15日まで」実施をいたしております。この間、何か動きがあった方がよいということで、毎週土曜日に秋穂の昔ばなしの紙芝居を実施いたしております。この紙芝居の読み手さんは、図書館と友だちの会・秋穂の原田さんをはじめとして、また県立大の学生さんにもご協力をいただいて、実施をさせていただいております。

それから、前後しますけれども、7月16日には入館者50万人ということで、ささやかではありますが、くす玉、それから記念品等を渡すなりのセレモニーを行っているところでございます。

それから、②番目の「子どもの読書活動の推進」についてでございますが「おはなし会」あるいは「ブックスタート」の再会につきましては、参加人数を制限した小規模の開催を、余儀なくされているというところでございます。実施自体は8月上旬より再開をいたしております。これも、引き続き少し小規模の開催という形で継続していかざるを得ないのかなと思っております。

それから、③「図書館協力団体との連携強化」ということでございますけれども、以上申し上げました図書館の活動につきましては、「図書館と友だちの会・秋穂」さん、それから「布絵本の会」さん「おはなし玉手箱」さん等々の図書館関係団体、それから「たのSEA秋穂づくり協議会」といった地域団体さんのご協力それから個人の方の文化活動などによる、地域力による貢献も大変大きく影響しているところでございます。図書館運営に欠かせないものと思っているというふうに考えております。引き続き、これからの10年に向けた秋穂図書館の運営ということで、ご

協力をいただけるように図書館自体も努力してまいりたいというふうに考えているところでございます。

先ほどご説明いたしました、10周年記念の企画をそのまま次の10年に向けて活かしていこうということで、館内に地域資料やそれから先ほど申し上げました、活動団体さん等々の活動内容の展示コーナーを新たに設置いたしまして、ギャラリーと合わせて関係団体との連携のもとで企画・提案・実施していきたいというふうに考えているところでございます。

それから、蛇足になりますけれども、先ほどの「10周年記念企画展」につきましては、ケーブルテレビの取材も受けております。ご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、引き続きそういったメディア等も申し込みがあれば、受けてどんどん秋穂図書館の商業的になればいいというふうに考えております。

以上でございます。

○安光会長

はい。ありがとうございました。

つづいては、阿知須図書館お願いいたします。

○阿知須図書館館長

阿知須図書館でございます。

資料の7ページでご説明させていただきます。

阿知須図書館の事業進捗状況についてでございますけれども、コロナ禍の中でも3密を避ける等、他の図書館と同様で、安全対策をした上で、主に除菌対応とかソーシャルディスタンスを保つために、77ある椅子を少し10数脚程度省きまして、利用者にコロナ禍でも安心して利用していただけるように館内の配置等を考えております。

①の「利用しやすい環境づくり」でございます。地域の方々に図書館をサードプレイスとして快適に利用していただけるように親切、ていねい、これはどこの館も同じだと思うのですが、このことをこころがけて接客対応をしてきております。

マスクをして、カウンターについて立てがあるのですが、従前と同じような形で気持ちよく利用してもらおうということで、職員でできるだけ接客マナーに心がけております。

あと、毎月興味を持っていただけるような資料展示テーマを設定いたしまして、大人子どもとも充実した資料内容として出しております。

10月、11月と、私も含めまして職員みんなで選定をいたしまして、この本を読んだというおすすめ本の企画展示を実施いたしております。

また、積極的な除籍を行うことで利用しやすいような書架の整備も取組んできております。本年度は年度当初から約550冊を除籍いたしております。

②の「新たな利用者の拡大促進」では、佐山地域の利用者を増やそうという目標

がございますので、情報発信のために佐山地域の交流センターに図書館だよりを置いてPRを行ってきております。

また、阿知須図書館は入り口のところに展示ロビーがあるのですが、展示ロビーを市民に開放いたしまして、1カ月単位で来館者の拡大につながるような個性的で多様な企画が開催されるようにしてきております。

最近では、「松代光正さん」の阿知須のまちをスケッチした、ふるさとスケッチ展や郷土の古写真を集めた展示や、各種の写真展等を行ってきて、図書館に日頃来られないような方も来てもらうようなきっかけつくりにつなげるような取組をしてきております。

③の「学校等との連携強化」では、阿知須地域の小中学校ごとに、図書館の担当先生と学校図書館指導員の方にペアで図書館にきていただきまして、司書の者と私と、図書館の利用の仕方で意思の疎通を図るような場を設定してきております。これによりまして、こども読書活動の推進につなげられるように、連携して学校等に図書館を利用していただけるように、連携をとりまして団体貸出等を中心に利用者が増えるようにしてきております。

以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございました。

それでは、徳地図書館お願いいたします。

○徳地図書館館長

それでは、徳地図書館の進捗状況について申し上げます。

コロナに関する対策につきましては4番目に項目を設けてありますので、そこでご説明いたしたいと思います。

まず、①の図書館利用促進のためのイベント開催についてでございますが、幕末維新関連の歴史講座につきましては9月13日に開催をしまして、25名の方に参加をいただいたところでございます。

今年度も複数の歴史講座の開催を予定しておりましたが、その他の講座の開催につきましては、コロナの関係で講師の確保が難しい状況でございます。

ストーリーテリングにつきましては、予定通り10月17日に開催をいたしまして、16名の方に参加をいただいております。

また、市部局の開催イベントでございます、東大寺サミットの行事につきましては、図書館の担当の予定でございましたが、他県からの参加者が想定されておりましたことから、すべての行事が令和4年度に延期となったところでございます。

七夕かざりにつきましては、7月1日から予定通り1週間、予定通り実施いたしております。

次に、②の「子どもの読書活動の推進」についてでございます。

ブックリンピックにつきましては「5月の19日から6月30日に」かけて行いまして、56名の子どもたちに参加をいただいております。

図書館たんけん隊につきましても当初予定通り 8 月 6 日に徳地地域内の小学生 5、6 年生、9 名の参加のもとに開催をしております。

ブックスタート体験会につきましても、これも予定通り 6 月と 9 月に実施いたしております。今後も計画通り行う予定でございます。

次に、③の「地域の情報発信」についてでございます。徳地図書館の入り口を入ってすぐのスペースに陳列棚を新たに設置いたしまして、徳地情報コーナーを新設いたしております。情報コーナーには地域の団体等、皆さんが作成されました徳地の文化・歴史・グルメ・イベント等に関するリーフレット・チラシ等を置いて、来館者へ自由に閲覧できるように、またパンフレット等につきましては、持ち帰りできるようにいたしております。

最後に④の「新型コロナウイルスの感染防止対策」についてでございますが、図書館入り口の手指消毒液の設置や、テーブルや椅子等の消毒、換気等につきましては毎日に行っているところではございます。

その他、イベント開催時におきましては、参加者にマスクの着用をお願いするとともに、発熱等の症状のある方には参加を見合わせていただいております。会場に来られましたら、手指消毒をお願いし体温の計測を行っております。会場につきましては座席と座席の間隔をこれまで以上に空けて配置をしており、換気のために窓を開けて講座の開催をしております。講師や語り手の前には透明なパーテーションを設置するなど、併せて感染防止に努めているところでございます。

それと手指消毒につきましては、年内には手を触れなくてもセンサーの感知により自動で消毒液を噴射する装置が、配備される予定でございます。これは市内の全ての図書館に配備される予定になってございます。

以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございました。

それでは、阿東図書館お願いいたします。

○阿東図書館長

はい、阿東図書館です。よろしくお願いします。

コロナ対策につきましては、他の館と同様に消毒や椅子の間引き等を行っているところでございます。換気の方は現在窓を若干少しずつ開けているのですが、報道によりますと今年の冬は寒いとありますので、阿東は寒いので窓を開けるのがいまから大変になるかなと思っております。

それでは、進捗状況でございますが、①の利用促進の関係でございます。先ほどからありますように「こどもワイワイ図書館」が中止になりまして、阿東の図書館まつりの方が 8 月の第 1 日曜日というふうに例年決まっておりましたので、8 月 2 日に予定しておりましたが、これも中止といたしました。

その他、交流センターの方のまつりとか、地域のまつり、文化祭とか、他の行事がほとんど中止になっておりますので、交流センターとの協催の事業とか、「ぶっく

ん」を利用したイベントが実施できておりません。

図書館のイベントとしましては、DVD上映会を行いました、これは交流センターの部屋をお借りしまして行うものですが、収容が50人のところを20人の定数といたしまして行いましたが、実際は11人が来られました。今後、後3回程度の上映会を予定しているところです。また、「図書館まつり」とあわせて行っておりました「ブックリサイクル」の方、先週の金曜から行っているところです。

それから、②の「各分館配送サービス事業の周知」でございますが、これは交流センターの分館におきまして、予約本の受け取りまたは返却ができる事業でございます。4月に異動で代わられました分館長には、すでに説明を行い、協力をお願いしているところでございます。今後も図書館だより等で周知をまいります。

③番の「移動図書館の周知」でございます。これにつきましては、前年の7月から阿東の方に車が来まして、阿東・徳地地域を回っているところでございます。これは毎月、図書館だより等でその月の運行予定を掲載して周知を行っているところでございます。少しずつではございますけれども、この方の利用者が増加している状況でございます。

阿東図書館は以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございました。

それでは、各図書館のご説明を終わりましたけれども、事務局から補助事業についてのご説明をお願いいたします。

○中央図書館管理担当主幹

はい、それでは事務局から、今年度事業で追加をさせていただいた事業につきまして、ご説明をさせていただきたいと思います。

すみません、資料をお付けしておりませんので、口頭になりますけれどもよろしく願いをいたします。

去る9月議会におきまして、9月の補正予算において、図書、自動貸出機の予算が承認を受けました。中央図書館に2台、小郡図書館に1台、導入させていただくことになりました。これにつきましては「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」というのが、国が作ってくれた交付金があるのですが、こちらの対象となったものでございまして、今年度中に、中央2台、小郡1台の3台の設置をするという予定にしているところでございます。

また、新聞検索パソコンを中央図書館に配置していた訳でございますが、「国立国会図書館デジタル化資料」というものがございまして、こちらの配信を受けることができるように、新しくパソコンを購入しました。

併せて、歴史的音源の視聴を行うということもできるということでございまして、現在設置作業を進めておりまして、このまま予定通り進めば、今週の水曜日、10月28日からの運用開始を、今、中央図書館では予定をしているというところでございます。

以上、2点、年度当初にはお知らせが少しできてなかったと思うのですが、追加の事業となりましたのでお伝えをさせていただきました。

以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございます。

今のところの少し確認を取ります。

自動貸出機は、補正予算でついたということですけど、決して除菌ボックスがついた訳じゃないのですね。

○中央図書館管理担当主幹

そうです。

○安光会長

この前の時、除菌ボックスの話が出たような気がして、今こそ除菌ボックスだと思ったのですがけれども、それは見送られたということですね。

○中央図書館管理担当主幹

はい。図書消毒機については、予算が、すいません、つかなかったという状況でございます。

○安光会長

また、引き続きですね。どんな菌が、あの0になるとは思えないので、次の予算というふうなことで、また申請していただければと思います。デジタル化資料とかなさるということに、素晴らしいなど。防府なんかはどんどん進めているので、そういう歴史的音源。

はい、ありがとうございました。いろんな、企画をされているということでございます。

今、6館から、コロナ対策のこと、それから、その間の休館の時の窓口開設、それから、実績は昨年度と比べるも、何というかこれは少し難しいのですが、そういうことです。

それから、今年度の主な取組みということで、進捗状況ということで、一つ少し確認したいのですが、先ほど中央図書館から、休館日のことをおっしゃっていたのですが、休館は6館全部同時に休館したということでしょうか。

○中央図書館館長

基本的にはそうなるのですが、中央図書館と小郡は火曜日が休館日です。

他の館は月曜日が休館日ですので、その辺りがちょっと若干お尻の辺りが少し変わったりしているのですが。

○安光会長

1カ月まるまるという訳ではなくて、何日から何日まで、少しずれるという訳ですね。

○中央図書館館長

お尻が少しずれるという。

	○安光会長 もう1つ、ごめんなさい、みなさんのために。 臨時休館されたら、どこもみんな臨時窓口を設けられたのでしょうか。それとも、中央図書館だけ臨時窓口を、これは貸し出しのための臨時窓口でしょうか。 ○中央図書館館長 臨時窓口はすべての館が、… ○安光会長 全ての館が、… ○中央図書館館長 ただ、今、申しましたように休館日の関係がありますので、少しずれたりしております。 ○安光会長 貸し出し中心ですか。 ○中央図書館館長 要は、インターネット予約をされた方に関しまして、お渡しするというものです。 戻されるのは、手で戻されるのも良いし、ポストに戻されるのも良いのですけれども、戻すこともやらせていただいています。 ○安光会長 すいません、もう1つ、インターネットは分かるのですけれども、そこに行ってこれを借りたいはダメなのですか。 ○中央図書館館長 はい。 ○安光会長 ダメなのですね。 ○中央図書館館長 あくまでも、入り口というか、図書が並んでいる書架の方には入っていただかないような形です。 ○安光会長 OPAC検索して「これを借りたいのです」と言っても、それはダメなのですね。 ○中央図書館館長 インターネット予約をとなります。 ○安光会長 インターネット予約。前も出たのではないかと、「デジタルデバイト」というか、まだまだその場に行かなくては「書名」は分かるのだけど、という方は借りられなかったということですよね。 ○中央図書館館長 6月の時にも申し上げたと思うのですが、今後の懸案事項と考えていかないといけない。要するに「デジタル難民」という方もいらっしゃいますので、その辺り
--	---

を考えていかないと、と思っております。

○安光会長

国もずいぶん推し進めてはいますが、まだまだというところがあると思います。すみません、先に少し確認だけさせていただきました。

それでは、6館のいろいろなご説明と補助事業について、何かご質問等々ありますでしょうか。お願いいたします。

コロナ禍でなかなか最初は動かせなかったけれど…

はい、どうぞ。

○吉村副会長

このコロナという思いがけないことで、今、この事業を見ていますと、だいたいふれあいを中心に、というのが従来でしたよね。しかし、だんだんこのコロナでふれあいができないということの中での、新しい転換点とか方針ということであり、考えていかなきゃならないと思うのですが、その中の1つとして先ほど少し出ていた「デジタル図書館」構想などというのはあるのでしょうか。

いろいろな、ほとんど「0」に近いところからの問題ですので、例えばデジタル化されている図書がどのくらいあるとか、あるいはそれらを図書館として利用するには、図書館法だとかいろいろな問題があると思うのですが、その辺りのところを、いろいろとこう小分けして整理していきながら、その方向ということをお考えなのか、あるいはそうではなくて従来通りの図書館の本の貸し出し、予約については割とデジタルされているということですが、本そのもののデジタル化、つまり蔵書をデジタル化するのではなく、そういったデジタル図書というのは結構出ていると思うのですが、そういったところの、法的なクリアさとか、というふうな整理をしていきながらの更新というのがあるのかどうかということを少し伺いたいというふうに思います。

もう1つは、もう当然されているのでしょうけれども、先ほどの図書館だよりだとかは、ホームページなどで公開されている。それで、その中にデータがありましたが、利用がどのくらいか、これはサーバーのアクセスの記録などを見れば取れると思うので、そういうふうなものがどうであるかということをお伺いしたいと思います。

○安光会長

はい。まずは、1つから。「デジタル図書館構想」というか、電子書籍そのものだけではないのでしょうか。もっと大きなことをおっしゃってますでしょうか。

○中央図書館館長

今、萩の方がやっていることが、おそらくイメージ的なものだろうと思うのですが、昨年のちょうど今頃でしたか、ナナシマチ（山口中央連携都市圏域）が、今、この辺りで検討されているのですけれども、そのナナシマチにおいて、要は、1つの行政だけでやるというのは、なかなか費用とかもありますので、少し話をしてみようかというようなですね。基本的に、ちょうど今から、ナナシマチの担当を

呼んで、こういうのがデジタル図書であってこれにはこういうことがありますという、業者は大阪の方から来ていただいて、少しご説明させていただいたのですけれども、その辺りで、少しやはりですね、図書館だけの話ではなくて、どうしても財政的なことも出てきますので、財務の方のことも考えながら歩調を合わせていこう、というところで、今、終わっておりまして、その辺りでコロナになってしまったので、その辺りナナシマチの話が、今、できていない状態でございまして、一回ほど、ナナシマチの方でそういう共同で、そういうのをやっていってということになります。そういう形の話し合いは、一回ほど持っています。将来的には、やった上でとは思っているのですけれども、予算的なことが、関わりあってくるので、財政当局をいかに口説いていくかということで、今、そのようなことででしかお話しといいますか、ご回答できない状況です。

○安光会長

はい。もう1つの方の図書館だよりとか、その辺は把握されていますか。

○中央図書館館長

図書館だよりだけでも、何件のアクセスがあったかというのは、無いないですけれども、実際にホームページの方に、何件見たかというものに関しては、日々統計を取っておりますので、これはあります。ただ、その中身の、どこに何件行ったか、どこに取りに行ったかとかは、それは取っていないのが現状です。

○安光会長

「YOOKE（よーけ）」というのがあります。前も言ったかもしれなのですけれども、県内の図書館が「YOOKE（よーけ）」というのに、全部データを上げていくというのもされているのですかね。確認はしていないので、わかりませんが、山大とか県立図書館が作られた、特に山大中心に、私ども県大もアップしていますけれども、それぞれがアップしていくのが良いのかなと思います。

これは、山口県地域学リポジトリ「YOOKE（よーけ）」といいますが「よーけ」というのは「たくさん」という意味の方から来ている。少し検索してみてください。ぜひそのようなのを、もう少し使うと幅が広がるかなと思いました。

デジタル化というのはすごく必要で、今こそこれはチャンスに、コロナがマイナスではなくて、なんだか図書館の予約サービスのやり方も、自動サービスでもみんな集めなくちゃいけないのですかというふうな、これから先のことをやっぱり考えるチャンスと捉える。だから、コロナはマイナスではなくて、何かのきっかけとなるかもしれませんね。借りるができるかできないかは別として、次のまた何かくるか知れませんが、必ず来なくてはいけないというふうなことではなく別に。

大学は、少し長くなりますが、遠隔授業を主にやっているのですけれども、図書館に来られないと、そうすると自宅でもデータベース検索できるように、来年度から開いていこうとか、来なくちゃいけないのと、ぬくもりは大切だけれども、次のところも少しずつ考える必要があるということが、チャンスだと是非お考えいただきたいと思います。

はい、それでは、他に何かご質問とか…

はい、どうぞ。

○中村委員

前回の協議会の時に出ていた、休館中にインターネットで予約をする、で、そのシステムは持ち合わせていながら、それが使えていない方に対して、こんなふうにしたらインターネットから予約して、閉館の時に借りられますよという、何というか講座というか、それをお伝えするような、そういう方法というのは検討がどれくらいなされているのでしょうか。

○安光会長

今は、デジタル化に向けての話で、…

○中村委員

大きく言えばそうなのですけど、予算とかには関係ないと思うのですが、利用者に対しての…

○安光会長

それこそ、親切な対応とかどこかにも書いてあったのですけれども、そういうふうな、インターネットしか貸し出しの入力ができないとのことだったら、そういう方たち、使えない方にそういうのをされましたか、というご質問でしょうか。

○中村委員

「されましたか」というか、6月の時にそういう方にも、急にこういう閉館というときに、すぐに対応できるように、いろいろと教えておいていただければという話が出たと思うのですけれども、それがどのぐらい具体化しているのかな、ということをお聞きしたいということです。

○中央図書館館長

具体的には無いのですけれども、実際に個人的にお問合せがあったときにお答えしてということになるかと思います。

○安光会長

今から先もどういうことかわからないので、少しずつそういうのもやりつつ、何か事が起こってからお教えしますとかじゃなくて、少しずつ行っていくというふうなことは必要だなと思っています。

他に何かお気づきのこととかご意見等…

○原田委員

今のことに関連してなんですけど、私の周りの兆候です。

図書館の休みになった次にネットとかを使って、借りるとか借りられるという発想自体が無いから、図書館が休みになったら、本は借りられない、読めない、というふうに少し言うてしまうのですよね。だから、そこで情報をあげても年齢がどうか、年月が進まないか今の状態というのはそんなには改善できないのかな、というのが私の意見です。

○安光会長

すいません、秋穂の図書館では、やっていますかではなくて、インターネットで予約して臨時窓口の時には結構来られていました。結構というのはおかしいですね。比較ができないのですけれども、そういう方たち、1日に結構こられましたでしょうか。

○秋穂図書館館長

秋穂図書館でございます。臨時休館時の窓口開設は先ほど中央の方から、説明がありました通り、インターネットで予約されたものだけの貸し出し、という形で秋穂につきましても運営しております。利用者の方々はどういう人たちかといいますと、ほとんどが秋穂地域の方ではありません。よその方、他市、宇部市・防府市、そういったところからも予約が7割8割くらいかなと。

○原田委員

結局、在庫が秋穂にあるということかしら。

○秋穂図書館館長

もともとそういう方々が、得意な方々の便利なツールというふうな形になっておりますので、今、課題になっております、いわゆるそういった方「弱者」の方々に対する対応としては、そういうデジタル的な考え方ではなくて、マニュアル的なアナログ的な考え方で対応していかないと、先ほど原田委員さんもおっしゃいましたが、教えるとかそういったレベルではなくて、はなからそれに、もうついていけない方々が、秋穂の場合は大半でございますので、そういう方々に対して、いわゆる地域館としてどういうふう考えていこうかな、と今少し原田委員さんとも話をしながら進めているところでございます。

以上でございます。

○安光会長

はい。原田委員さんを、頼りにされているようですけれども、地域の方をよくご存じです。

他にもよろしいのでしょうかね。

○安光会長

はい、どうぞ。

○坂田委員

私は、臨時窓口の時に行っていないのですけれども、あの時は図書館の中の検索のパソコンがありますよね。あのところを使えたのでしょうか、使えなかったのでしょうか。

○中央図書館館長

基本的には図書館の中にとどまっていただくということができませんので、それはないです。どうしても、パソコンとかを使うと、そこに数十本とか、一番ひどいときは一人出たら一人入ってくる、一人出たら一人入ってくる、そんな形でやっておりましたので、OPACの検索というのはなかったです。

○安光会長

狙ったものを受け取ると、いうことぐらいなのですね。

はい。分かりました。とどまらないと、休館ということですから、休館中の臨時窓口ということで。

○坂田委員

コロナに対する対応策というか、みんな結構重症化しないようにとか、広がらないようにという体で、検索パソコンになると無理かもしれませんが、広報を利用するというので、自分も、あっても紙媒体が好きなので、市の広報誌で今回、小郡図書館さんの鉄道の方とか、それから徳地図書館さんの、延期になりましたけれど「東大寺サミット」とか、本当に興味深い、秋穂図書館さんの展示とか、その図書館に行けばわかるのですけれども、市の広報誌で今回15日版に小さく「図書館まつり」のことは出ておりましたけれども、よく各地域のこのようなところがありますよ、という紹介、あんなに大きくなくても、以前令和元年度に吉村先生がおっしゃったように、限られた予算の中で、その図書館に重点化した図書を充実させていけばというのがありましたけれども、それがとても心に残っていて、だから、そういう、今のとは違いますけれども、その図書館独自の位置的なものとか、重点化して、やっぱり紙媒体の方が見る人も多いと思うので、広報して、ここの図書館、こんな素敵なこういう取組みをされていますよというのを、新山口駅で貼ってあるのを友達が撮ってくれて、「こんなのを小郡図書館やっているよ」とか、送ってくれて「あー、すごいなあ」とか思うのですが、なかなか広報誌とかには載っていないので、図書館だよりにはとか図書館に行けばあると思うのですが、そういう「広報」での連携というのを、デジタルと合わせて良いのかな、と思いました。

○安光会長

まあ、デジタル1本じゃなくて、やっぱりそういう紙媒体・電子媒体、両方合わせてということだったと思います。

はい、それでは、まだまだあると思うのですけれども、次に行かせていただきながら、3つ目「図書館まつり」です。

そして、また全体的なご質問等を受けますので、まずは3つ目の「図書館まつり」について、11月には徳地・小郡・阿知須・中央ということになりますので、まず、最初にあるのが1日ですね。「徳地図書館まつり」のことをお願いいたします。

○徳地図書館館長

それでは、徳地図書館まつりの概要について申し上げます。

資料は8ページをご覧ください。

今年の図書館まつりにつきましては、11月1日の日曜日午前9時から午後4時まで開催の予定でございます。9時から「お楽しみ抽選会」を開催しまして、図書等を借りられた方を対象にクジを引いてもらい、雑誌の方についていた付録品をプレゼントする準備をしております。10時から「図書館工房」と題しまして、さまざまなカラフルなクリアファイルを用意しまして、これを加工しご自分のマスク入れを作っていただくというふうに企画をしております。食事の時などにマイ

マスクの収納に使っていただくというようなものでございます。お昼14時から、徳地の「おいしいおかゆの会」さんをお願いしまして、絵本の読み聞かせを行っていただく予定としております。その他、徳地図書館に所蔵してある本の中で、折り紙や空き箱工作、ぬいぐるみなどの作品の作り方が載っている本を参考に、徳地の職員が実際に作った作品と、その作り方を紹介した本をセットで展示する予定としております。また、こどもたちを対象に「クイズにチャレンジ」を開催しまして、クイズへの参加者には先着で文房具などの景品を差し上げることとしております。

例年、徳地におきましては「図書館まつり」と同じ日に、「徳地フェスティバル」が開催されて、徳地地域の特産品の販売や各種バザー、文化展やもちまち等も行われる、大変な人出で図書館への入館者も毎年1000人を超えておりました。

しかしながら、今年は残念ながら新型コロナの関係で、フェスティバルの中止が決まっております、来館者数の面では大変な苦戦が予想されております。

図書館では、今できることをおおむね例年通りの予定で行っていかうと考えております。

説明は以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございます。11月1日は「徳地図書館まつり」ということです。

それでは、11月3日開催の、まずは「小郡図書館まつり」につきまして、ご説明をお願いいたします。

○小郡図書館館長

「小郡図書館まつり」について、10ページ、11ページの資料に基づいて説明いたします。

「小郡図書館まつり」ですが、これも例年通りのメニューは挙げておりますが、やはりコロナ禍ということで人数的には、少し削減をして開催を予定しております。

そして、鉢の子さん等の団体に盛り上げてもらって実施していくわけですが、これも徳地と同じで旧小郡町の時代から、11月3日には「福祉まつり」が開催され、駐車場を閉鎖いたしまして、仮設舞台を設置して、芸能などのいろいろなイベントやもちまきとかも行ってきたかなりの人でにぎわっていましたが、しかし、今年はコロナ禍で中止になりました。そのような大きなイベントが中止になると人が来ないのか、それとも図書館の方に来てくれるのか、というのは分かりませんが、来てくれた人が楽しんでもらえるようなメニューを考えております。11ページの2番目の「図書館の本から生まれた作品展」が、今年度10年目の節目を迎えました。これは図書館の本を見たことがきっかけで、自分も作品を作ってみようと思われた方の作品の展示でございます。当初は、そういう方に展示をする場を提供しようという発想で生まれた訳ですが、回が進むにつれて、次の年にはこれを作ろうとか、図書館に行って資料を探してまたこれを作ってみよう、次の年の目標として1年

間過ぎてもらおうと、さらにはそれが、生涯学習につながればという大きい思いも出てきて、今年も見に来られるだけではなく、次の年は参加していただきたいと、そういう思いを含めまして10年目を迎えて、15年、20年に向かってつなげていこうと力を入れているところでございます。

あとは、一番下の階段アートですが、図書館自体も日ごろと違った雰囲気です。盛り上げていこうと思ひまして、計画しているところでございます。

以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございます。

それでは、同じ日ですが11月3日に開催される「きらら館まつり」阿知須図書館、お願いいたします。

○阿知須図書館館長

はい、12ページでご説明いたします。

市立図書館の「きらら館まつり」についてご説明いたします。

開催日は11月3日火曜日文化の日でございます。9時～15時まで開催いたします。

内容につきましては新型コロナ感染拡大防止のために、3密を避けまして、密になる「ブックリサイクル」これは例年すごく人が集まって盛り上がっている行事だったのですが、それとか上映会等の行事は止めまして例年よりも規模を縮小して開催いたします。

おはなし会を楽しむコーナーでは、10時より阿知須図書館のボランティア団体「おはなしキラキラ」さんのおはなし会を実施いたします。場所は図書館のブラウジングコーナーに会場の設置を行ひまして、その時にはボランティアの方の着ぐるみの怪獣も登場もすることになっております。

また、移動図書館「ぶっくん」は、これは最初の資料では午後だけだったのですが、近隣の行事が全部中止になったので、午前・午後とも終日運航をしていただきまして、中央図書館に馴染みの少ない地域の方々に本を借りていただく予定でございます。

また、終日図書館のセンターのブラウジングコーナーに会場を設けまして、釣りの要領で簡単なゲームなのですけれども、簡易な釣り竿で「〇〇をゲットしよう！」と題しまして、景品No.を釣り上げていただいたもので、お土産を持って帰っていただけるような行事を計画しております。ノートとかシャボン玉とか風船とか、ささやかなものなのですけれども、子どもたちに喜んでもらおうかなと思っております。

また、図書館やぶっくんで本を借りた方々にくじ引きをしてもらひまして、雑誌の付録やボランティア等に寄付してもらっている物品等を当てて帰ってもらおうというふうに思っています。

例年、公民館まつり、おげんきかんまつりが隣接であったりしたのですが、今年は一切中止になっておりまして、他館と同じように、どれだけ人が来られるの

かというのが、ただ、こちら行事も縮小しているところがありますので、少し心配なのですけれども、以上のような計画で図書館まつりを実施したいと思っております。

以上でございます。

○安光会長

はい、ありがとうございます。

1つ確認したいのですが、小郡図書館には「ぶっくん」は行かないのでしょうか。

○小郡図書館館長

「ぶっくん」は来る予定はありません。

○安光会長

今年は…今年はというか、今までもきていないのですね。同じ日で阿知須の方は行くということですね。

確認でした。

はい、それでは、最後に山口市立中央図書館は11月21日開催ということです。

よろしくおねがいします。

○中央図書館館長

中央図書館は、会長から紹介があった通り、第3土曜日の11月21日の10時からということで開催しております。昨年との違いでございますが、とりあえず密になります「ブックリサイクル」は中止になります。

それから、対面朗読サービスは対面するのでこちらも中止ということにさせてもらっています。

上映会は、これは中止なのですが、新しい試みとして朗読マラソンというのをスタジオCというところでやらせていただくようになっております。

それから、スタンプラリーも中止という形になっております。

裏面の方に15ページの方になると思いますが「点字で名刺づくり」これはまた例年通りやらせていただきます。

「ぶっくんにのってみよう」もこれも例年通りでございます。

「おはなしひろば」に関しましては、5組程度までということで縮小させて、開催するということになっております。

それから4番目の「感動を声に！朗読マラソン！」これが、今、申しましたように新しい試みとして、愛メイトさんによります「朗読のマラソン」、簡単に言うと、言葉そのままなのですが、そういうのを開催させていただきたいと思います。

それから、5、6、7に関しましては、それぞれ県立大の生徒さんによる企画ということで、させていただいております。

8番目に関しましては、去年と引き続き、前回はこの図書館近辺だったので、今回は山口市内のなかなか目に当たらない隠れた風景写真を、地図とともに展示させていただきたいと思います。

以上が、大体の中央図書館の予定となります。

○安光会長

はい、先ほど県立大学と言われたので、5, 6, 7につきましては、地域文化実習という授業の一環として企画を考えさせていただいております。昨年度から授業の一環ということで、伺わせていただいております。

はい、それでは「図書館まつり」のこと、徳地図書館・小郡図書館・阿知須図書館・中央図書館ということですが、何かご質問・お気づき、そういうことがあれば、お願いいたします。

はい、それではまた、その他まで行きまして、全体に対するまたご質問等があればということですが、4つ目「その他」なのですが、事務局からお願いいたします。

○中央図書館管理担当主幹

はい、それでは、事務局から3点ほど、お知らせを含めましてご連絡をさせていただきたいと思います。

まず、1点目でございますが、「第1回協議会」の時にご質問としていただきました「パスファインダー」についてでございます。

「パスファインダー」につきましては、その当時ご説明をさせていただきましたけれども、図書館のホームページの方にデータでアップをさせていただいているとともに、ここ少し説明が漏れていたのですが、中央図書館におきましては、印刷を紙の方に印字をしまして、ご希望の方に配布をするということをさせていただいております。

利用人数の方は、残念ながら集計をしていない状況でございますが、させていただいておりますが、先日には、ある小学校の先生から「大内塗り」についての「お問合せ」をいただきまして、ちょうど「パスファインダー」で「大内塗り」のまとめもしておったものですから、ご紹介をさせていただいたというようなご利用の方法もいろいろ出てきているというところでございます。

現在、「パスファインダー」は『くりまさる』と『はなっこりー』それから『外郎』で山口の『驚流狂言』で『大内塗り』『中原中也』『長門峡』のまだ、7点でございますが、その作成をしているというところでございます。

今後につきましては、館内で配布する「パスファインダー」の部数等を小計してまいりまして、統計データも今後は取っていきたいというふうに考えているところでございます。

1点目は以上でございます。

○安光会長

それで、よろしいですかね「パスファインダー」については、あとは、次回のこととなりますか。それは、またあとにしましょうかね。

はい、それでは、前回の「パスファインダー」についてのお答えということです。

それで、後は次回の開催とかは、後にさせていただきまして、今はもう駆け足でいってしまいましたけれども、1つ目の議題の委員の交代はいいですけれども、2つ

目「今年度事業の進捗状況等々」それから「図書館まつり」につきまして、何か。
まずは、それに対するご質問をいただきたいと思います。それがだいたい終わりましたら、全体的にというか、日頃思ってたことを…。はい。

○吉村副会長

あの、事業ということで、この中に記載していることじゃないのですが、以前に「まちの図書館」ですか。

(周りが「まちじゅう図書館」と補足)

○吉村副会長

まちじゅう図書館。例えばスターバックスに本を置くとか、あれはいま、そういったことはどうなっていますでしょうか。

○中央図書館管理担当主幹

今、まちじゅう図書館につきましては、一生懸命頑張っているところでございまして、現在11事業者さんに本を置いていただいて、事業を進めています。まちじゅう図書館につきましては、2カ月に一度、大体50冊から60冊の本を、1カ月に1回交換して、循環させながら読んでいただいている。そういうことでございます。

その参加していただいた事業者さんにつきましては、中央図書館の方で講座も自分の得意とする分野のところ、講座をしていただいて、非常に好評を博しているところでございます。

先ほど、館長が申しましたように今年度7講座、今、行っていまして、すべて予約でいったんソールドアウトといえますか、いっぱいになって当日来られない方もいらっしゃるので、常に満杯ではないのですが、予定された人数は常にきていただくという形でございます。

非常に好評を博していると考えておりまして、図書館の利用にもつながって、本を読んでいただくということにつながっていると思っていますので、また、11月の市報におきましては、今年度から来年度にかけての事業者さんの募集を、市立図書館のPRといえますか、それと合わせてさせていただくというふうにしているところでございます。

○安光会長

山口委員さん。

○山口委員

それに関連して、実際に事業さんの方のお店でどのくらいの人が利用されているのかというのを知りたいのと、私、何軒か行ってみたのですが、少し目立たないところにあたりとか、あるのかないのかわからなかったり、探さないとわからなかったり。結構そういう意見を聞くのですよね。どこにあるかわからない。皆さん、これ興味を持ってそこに行ったけど、どこにあるかわからなかったと、そういう声を聞くので、実際、他所に少し小さな…あれ図書館というのかな…自分のところの本より少ないなと思って、何だか少し、図書館という感じで何か目立つ感じだった

ら、嬉しいなと思いました。

○中央図書館管理担当主幹

ありがとうございます。

置き方にまで、お願いをさせていただいている分は、無いかもしれません。

今、まちじゅう図書館は、図書館というには少し…確かに5、60冊ですから、常に5、60冊の本ですから、1箱に入る、そのお店の邪魔にならない程度の大きさということで行っておりまして。まちじゅう図書館用のボックスは製作をして、おいていただいています。

一番真ん中に置いてくださってなかなか申し上げにくいところがあるのですが、今、月にだいたい2200人程度の利用があるのではないかとということで、毎年、アンケートを取らせていただいています。

それなりに、お店にとっても、ウィンウィンじゃないですけども、貢献をしているのだと。お店に普段置かないような本でも、リクエストしていただいてそれに見合ったような本を、新書も含めて置かせていただいていますので、良いのかなと思っております。

また、もう少し、委員さんもおっしゃられるように、少し工夫をしながら進めていけたらな、と思っています。

○安光会長

サービス計画の中にありますので、ますます盛んにということですね。せっかくだから市民の方に、これが市立図書館の本なのだとということが、しっかりわかるようにと、ということだと思いますけれど、今…

○大野委員

関連のことで、質問いたします。先ほどのご説明の中に、これくらいの大きさと、大きさといいますが、これは、この架台の枠よりも大きいのですか、小さいのですか。

○安光裕子会長（山口県立大学図書館長）

足を取っていいですか、足を。

○山口委員

こんな、いわゆる2段ボックスみたいな感じで…

○大野委員

上から下までのこの枠を…

○山口委員

2段ボックスの何…

○大野委員

このようなものですか、だいたい…

○山口委員

このようなものですよ。

○尾崎一郎主幹（中央図書館管理担当主幹）

5, 60冊が入る大きさです。

○山口委員

ほんとにこんな感じです。これくらいの本棚。よくありますよね、学生のお部屋とかにある。

○大野委員

それと、阿東ではどこに置いてあります。

○中央図書館管理担当主幹

すみません、それが、阿東の業者さんにもお願いをさせていただいたところもあるのですが、残念ながら、今、手を挙げてくださる方がいらっしゃらなくてですね。

○安光会長

手を挙げた方、やめた方とか、いろいろといらっしゃるかとは思いますが。

はい、それでは、さっき前提的に言ってしまったので、今度はお時間を長くするつもりはありませんけれども、日頃、市立図書館について、何か思っていること、お気づき等あれば、何でも結構です。今のことで結構です。どなたからでも結構ですのでお願いいたします。

やっぱり、せっかく来られた、私は少しべらべらとしゃべっていますけれども、お声を皆さんからお聞きしたいなと思っております。

なんだか、中原さんと目を無理矢理見合わせてしまいましたけれども、何でも結構でございますのでよろしくお願いいたします。

○中原委員

何点か事務局さんの方に、こういうことをお聞きしたいということを挙げたのですけれども、今日のこの会議で、例えばコロナに関する考え方とかお聞きしたので、1つ聞きたいのは私たち「鉢の子」は結構イベントをするのですけれども、これからはコロナのことを考えて、こういうことは気を付けておいてほしいとか、参加人数はこれくらいにしておいてほしいよとか、何かそういう統一のルールみたいなのがあれば、そういうことをお聞きして、それを考えて開催はしたいなというふうに思っています。

それを、少し小郡図書館の甲斐さんとも話したのですけれども、その統一したルールというのは、各館の規模とか利用される方とかの特性とかもあるので、ルールは決められないかもしれませんね、ということだったのですが、何か今から「鉢の子」は結構、行事が詰まっているのですけれども、これだけは気を付けておいてよ、ということがあれば教えていただきたいと思います。

○安光会長

はい、お願いします。

○中央図書館館長

中央図書館でございますが、今の市の方におきましては、国の差し示しております、そういう条件があるのですけれども、それを尊重しようということで、その中で、今、一番問題なのが収容人数、開催したときの人数ですが、一応、1000人

を超えた場合は、県の方の防災危機管理課の方に相談しないさい、ということを差し示されておりまして、どういうことかという、これはチェックシートみたいなものを、書いてもらって、それにチェックをしていってこれに該当するようなら、指針にしたがってしてください。そういうチェックシートみたいなものがありまして、それをチェックしていって開催すると、というような状況があります。

これは山口市の方では、11月まではこういう制限で行いましょうというのを国が指示しているのに、順次で行っているというのがあります。図書館まつりに関しましては、今のところ1000人超えるのは中央図書館だけでございますので、他のところはそれぞれの形の、通常のやり方でよろしいのではないかと、マスクとかお手洗いとかではないかと思えます。

ただ、1番の懸念は、1番はじめ2月に、首相の方から学校を閉鎖するよというのがあって、3月上旬から閉鎖になりましたよね。図書館の方もその辺りで、閉鎖になったのですけれども、その時はたった1人、下関に出たということだけで「閉鎖」と一番初めは、それがだんだん今度は2番、3番とかは、一人くらいは「あ、そうか」くらいに言っています。

本当にそれぞれ時期的に、温度差というのも出てきますし、地域的な温度差もあるのですよね、例えば宇部に関しましては1回クラスター発生してしまって山陽小野田でも、クラスター発生してしまって、こちらの方はなかったのですが、「閉鎖」して先月9月の中旬くらいまでかな、1回閉鎖したりとかしておりますので、その時の状況というのもありますので、ここはこうですよ、こうですよ、というのは少し言いにくいのですが、一応統一的なルールとしましては、今の国の方を差し示しております、これを11月までにこうですよ、というのがあるのですけれども、それを基準にやっている。これが、大まかな統一した基準ということでございます。

○安光会長

あと、よろしいでしょうか。

○中原委員

あと、参加する方に名簿は求めた方が良いのかどうかということも、あの何人…何でしょう…人気の講座は申し込み制にしているのですけれども、例えば、誰でも来て良いよというみたいなものの名簿というのは、たぶん1000人は超えないように気を付けます。だけど、名簿というのはなるべく書いてもらってよ、みたいなのはあるのですかね。

○中央図書館館長

一応、今、講座で行っているのは、この前50人歴史講座を行ったのですが、これも電話で受けて、住所氏名を聞いて、名簿を作って、前売り券だから、どなたが来たかというのは分かるような形で行っておりますが、ただ、今、図書館自体、中央図書館に関しましては、平日は1000人くらい、土日になって試験とかがあると、1600人くらいですけれども、これをすべて網羅するということは不可能ですので、そういうだれが来てもいいよ、たくさん来るよ、というのに関しましては少

し手が回っていないというのが現状です。

ただ、そういう講座でどなたが来たってわかる、個室に人が入る、で聞いて書いていく。そういうのは名簿を作ります。

○安光会長

よろしいですか。

○中原委員

中央ではそういうふうになっているけれど、そういうのをしなさいよということではないということですよね。

○吉村副会長

トネリコの会は大体何人くらいなのですか、平均。

(周りから「鉢の子」と訂正の声が多数入る)

鉢の子は、大体平均して何人くらい、不特定多数の方を呼んだとしても、何人くらいになるのですか。

○中原委員

誰でも来て良いよというので、20人を超えることはないかな。20人くらいで。

○吉村副会長

20人くらいでしたら、書けますよね。

○安光会長

はい。それでは、他の方。どうぞ、よろしくお願いします。

○國弘委員

3点ほどお願いします。

○安光会長

1つずつ行きましょうか。

○國弘委員

先ほどのデジタルのことですけれども。

私は予約してはお借りしているのですけれども、臨時開館日の時に来ましたら、貸してくださる本を全部消毒して、渡してくださったのですね。ああいうふうな細かい心遣いをされているというのでまず感動いたしました。それが1点です。

それから、図書館まつりの時に「愛メイト」で朗読をさせていただきますけれども、あれは例年部屋で行っていたことを、ただ壇上に上げたということで、ただこのご時世ですから人数は制限15人ということで、やらせていただいているのですが、それからものすごく、派手派手しく広告していただいて、ありがとうございます。

ただ、15名という出演者の規制そして聞く方も15名と、一応こころづもりとして、15名くらいとしているのですけれども、というのは今まで部屋で行っていたのは密になるから、あちらへもっていっただけということなのですから、そうすると朗読を聞くことで、私たちが勉強させていただくという場を作ったということなのです。「愛メイト」の会員も聞かなければ、意味がない訳ですから、それを入

れますので人数制限をさせていただいて、行わせていただくと。図書館からものすごく多大に援助していただいていますので、やってみようということでご迷惑をかけますが、よろしくお願いいたします。

それから、図書館を利用している小中学生の読書感想文というのをやっていると思うのですが…

○中央図書館館長

あの「画」です。

○國弘委員

「画」の方だけですか。

ある中学校のホームページを見ていたら、誰が優秀でだれが入選した、というのが載っていたのですね。それで、他の中学校のものを見ても載っていないので、図書館でどのような学校が参加しているのか見てみたいと思ってやってみたのですが、どこにあるかわからなくて、ああいうようなことについての、PRとか、親は喜ぶと思うのですね、例えば、まつりの時の、表彰会をやるとか、方法はいろいろあると思うのですけれども、まずこういうことをやっていて、こういうに子どもが取りましたよ、というその辺の報告というのは見落としていると思うのですけれども、どういうようにしていращやるだろうかと思ひまして。

○中央図書館館長

今の「私の好きな本のイラスト」というのをやっておりまして、それは別に1等賞とか2等賞とかつけていないので、おそらく図書館が絡んでいるのでは無いのですかね。

何か1等賞2等賞つけていましたかね。

○中央図書館管理担当主幹

いいえ、図書館の行事といいますか、図書館の行っているのは、実際に本を読んでいた絵の募集を各学校にも一般の子どもたちもさせていただいて、その絵を展示させていただくという活動をしているのですが、読書感想画とか読書感想文、学校がしておられることを、図書館で何かをするということはしていないで、例えば読書感想画で賞を取られた方の、展示の依頼があった場合には、展示をかつてさせていただいたこともあるのですけれども。それを取りまとめて図書館でということとはしておりません。

○國弘委員

そうしたら、読書感想文を何冊かを全部1冊にまとめて提出してとかいうふうなことは、昔あったような気がするのですが、それはもう無くなっているのですか。

○中央図書館管理担当主幹

図書館がそれを作業として行っているということはしていないと思います。

○國弘委員

していないのですか。

○井町委員

すみません、中学校の方ですが、読書感想文については、主に中学校の中で学校図書館の担当の者が集まって審査をいたしております。市に関しては。そこに上げるまで、まず学校で審査し、代表を市にあげ、さらに良ければ県にあげるという形で、国語の教員が行っておりまして、絵に関しては美術の教員がやはり学校で選ばれたものをあげてという形で行っております。それで、読書感想文と絵の優秀なものについては、毎年「私の読書」という本で出ておりますが、それはたぶん学校関係の方であり、図書館の方とは連動はしていないかと思います。

○國弘委員

県の方に読書感想文を、何冊か読んで書いて出すというようなことが昔あったと思うのですが、それと同じように市の方にも感想文書いて出すというのがあったような気がしたものですから、それについてどうしようかなと思いお聞きしたのですが、今はなくなっているわけですね、そういうのは。

○中央図書館館長

学校で行っているのではないかと思います。

○國弘委員

今のおっしゃったのは、県、全国というふうに上がっていくというのは知っていますがけれども、それではなくて、それはそれであって、市の独特のやり方として、読書感想文の特集したりとかしているのかと思って、すみません。お時間取りました。

○中央図書館管理担当主幹

「読書ノート」の推進については、一生懸命図書館を中心に行わせていただいていますけれども、読書感想文を図書館で集めるということは行っていないです。

○山口委員

今の國弘さんに関して中央図書館まつりの実行委員としてなのですがけれども、対面朗読に朗読マラソンというのは、確かに「愛メイト」さんが中心になっておられますけれども、対面朗読をするための配慮がない、それがなくなったからそれをするということで、私たち委員は考えていないと思います。

あくまでも、朗読マラソンしようということで、あくまでも、チラシに大きく載せたように。確かに「愛メイト」さんが席を半分埋められているということで、参加15人と参加者の席15人で、15人くらいしか新しく募集はできないけれども、一応新しい試みとして私たち一丸となって取り組んでいますので、ぜひ一般の誰でも参加できる会だというふうに宣伝していけたらなと思っています。

○國弘委員

ありがとうございます。

いままで、部屋で行っていたことをあちらへ移しただけということで…

○山口委員

ではないです。そのような感じではないですよ。私たちはそういうつもりでまったく行っておりません。

○國弘委員

私たちは、それが来られた方に読み聞かせをさせていただいたり、こられた方に読んでもらったりしていたのですよね、今まで。

○山口委員

それはそうだと思いますけれど、だから、対面朗読ができないから中止します。

でも、この朗読マラソンはそれとは違う、舞台上、あくまでも朗読の会だと、そう思って私たちが、ぜひやりましようと言って、チラシなりポスターなりに大きく載せたのであって、対面朗読の会イコールではないです。

○國弘委員

はい、わかりました。

○山口委員

だけど、みんなでとても楽しみにしています。新しい取り組みで。

○國弘委員

ありがとうございます。

○安光会長

ありがとうございました。それでは、他になにか…

○中村委員

不勉強で申し訳ないのですが、今の共同利用スペース、奥のあそこは閉鎖しているのですよね、閉鎖したままなのですか…

○中央図書館館長

閉鎖したままです。

○中村委員

何か、今までのように資料を持ち込んで、調べものをしたりするなどには、あそこは窓が無いので難しいと思うのですが、あの空間をそのまま閉じておくだけではもったいない気がして、何かその表紙見せで机の上に本を並べるとか、展示スペースとして使うとか、いつまであそこが閉鎖になっているかわからないですけれど、ある空間なので、なにか活用方法があればいいなと思って、具体的に私が持っている訳ではなくて、何か活用できたらいいなという気はしていますので、もし何か良いアイデアがあれば、ぜひお願いします。

○中央図書館館長

今は、自主的に共同利用スペースは閉鎖しているのですが、今年から、3カ月に一遍ほど雑誌の譲渡会を行っておりまして、それをいままで1年に1回だったのですが、今回は3月に1回行っておりまして、その時は、そこに仕切りをして、一度に人がたくさん入らないようにして、1人入ったら1人出るみたいに、そういう形で雑誌譲渡の時には使わせていただいているのですが、これも永劫に閉鎖というのは考えておりませんので、状況を見て早く開けたいというのが現状なのです。例えば、子どもが試験シーズンになると、あの部屋があるとないとは、全然変わってきますので、子どもたちも来てから空席が無いから帰らないといけない

とか、そういう忍びないことも起きていますので、なるべく早く状況を見て開けた
いと思っております。

○中村委員

本来の使い方ができるのが一番良いと思うのですよね。この前、萩図書館で「ブ
ラインドブックマーケット」を3カ月くらいの期間を置いて行っているという話を
聞いて、そういう空間にも使えるかなと。「ブラインドブックマーケット」の話をす
ると長くなるので、要するに活用ができたらいいなというふうに思っています。

○安光会長

はい、ありがとうございます。

他によろしいでしょうかね。

今日、橋本先生は一回目、今日初めてお越しになられたということで、何か気に
なることとか、何でも結構です。感想でも結構です。

○橋本委員

すみません、先ほど「パスファインダー」というお話を事務局の方に説明してい
ただきました。それは、対象は小学生ということですかね。

○中央図書館管理担当主幹

そうですね。調べ学習を中心に考えておりまして、だいたい4年生以上の方に見
ていただいたらというふうな、作り込みをしています。中学年以上。

○橋本委員

そこを先に検索して、その中にキーワードを入れたら見られるという感じですか。

○中央図書館管理担当主幹

そうですね。図書館のホームページの中に「パスファインダー」という項目を作
っていますので、そこをクリックしていただけると、そこに今7つほど作っており
ますが、そこを選んでいただいて、後ほどまた見ていただけたらと思うのですけれ
ど、こういう本がありますよとか、こういうデータを探したら良いですよといった
ような形のものを作っております。

○橋本委員

内容説明と本の紹介ということですかね。

○中央図書館管理担当主幹

そうですね。この本を読まれたらどうでしょうかとか、そういう流れです、どち
らかといいますと。インターネットはこうやって調べてみたらどうですかとか、新
聞記事はこういうのがありますよとか、こういうところの機関にお話しを聞いたら
いいですよとか、特定のテーマに関する資料や情報をまとめたガイドです。

○橋本委員

ありがとうございます。

○安光会長

ぜひ、ご活用いただければと思います。

はい、どうぞ。

○中原委員

全然、余談なのですが、山口市外の図書館を利用している方と雑談しているときに、こんな本を買ってほしいというふうに「リクエスト」を窓口でされたということで、そうしたら「うちの図書館はそういうことをしていません、というふうに言われた」と言われたのですよ。それで、私その図書館のホームページで調べたら、ちゃんと「リクエスト」を受けますと書いてあるから、窓口のカウンターの方が知らなかったことだったのだね、ということになったのですが、私たち小郡とか中央とか秋穂とかその図書館を使わせてもらっている時に、絶対にそんなことはないで、何かそういうことをして「リクエスト」を受けてもらえるというのが、当たり前のこととと思っていたし、そういう職員さんがきちっとしておられるというのも、本当に当たり前のこととと思っていたのですが、そういう他の市町のことを聞くと、結構そういう職員さんのきちっとしてくださっているってことは、ありがたいことだっているのはすごく思いました。なので、正規の職員さんだけではないけれども、パートの嘱託の方とかそういう方の、研修とかいうのはどんどんきちんとしていかなければいけないことだし、そういうことをお願いしていきたいなというのは思いました。

○安光会長

はい。その前に、そもそも少しお伺いしたいと思います。

市「外」の方。ですから、サービス計画の近隣もこういうサービスはするけれども、地元で「リクエスト」をしてくださいということもあると思うのですよね。ですから、そもそも、職員研修がどうこの前にどういう対応をしているかということ、窓口で…

○中央図書館管理担当主幹

「リクエスト」につきましては、実は本市においても市内の方のみなのです。市内在住の方からしか「リクエスト」を受けないという仕組みにしております。なので、山口市在住の方が、「リクエスト」していただくときには、ちゃんと紙に書いていただいて、申込書を書いていただいて、対応させていただいておりますが、カードを持っていらっしゃっても他市の方であれば、「リクエスト」はお断りしているというのが現状でございます。

○安光会長

ですから、その地域で、地元で「リクエスト」してくださいということですね。

○中央図書館管理担当主幹

そうです。

○中原委員

その市町に住んでいる人で、いつも図書館のカードを持っている人が使って、カウンターに「このような本を買ってほしい」と言ったら「そういうことはしていません」と言われたから、たぶんそのカウンターの方がたまたま知らない人だったということで…

○安光会長
市町の方ですか。市町「外」じゃなかったですか、さっきおっしゃったのは。

○中原委員
そうです。その町に住んでいる人です。

○安光会長
住んでいる人ですか。

○中央図書館管理担当主幹
それは、うちの市内で…

○中原委員
ちがいます。ですから、よその町のことなのですからけれども…

○安光会長
ということは、山口市「外」に住んでいる方ですね。今、おっしゃったのは。

○中原委員
よその町の話ですけれども。そういう話を聞いて山口市はちゃんとしているということをおっしゃったということ…

○安光会長
そういう意味なのですね。少し、勘違いしました。そういう意味での…、逆かと思いました。すみません、わかりました。ですから、何がサービスするけれども、この部分は地元でしてください。通学・通勤は無いのですか。少しごめんなさい。

○中央図書館管理担当主幹
市内在住の方で…

○安光会長
今時、通学・通勤もありそうだけれども。

○中央図書館管理担当主幹
「リクエスト」については。貸し出し等々のカードは、近隣のところすべて作っていただいていますけれども、「リクエスト」はそういうふうに限定をさせていただいております。

○安光会長
はい。お金が絡むこともあって、地元でということで。その辺はきっちりしているということでございました。

はい、それでは、まだまだ出尽くしていないの…何かありますか。

○中央図書館館長
中原さん、良いですか。ＡＶは。

○中原委員
ＡＶブースのことだったのですけれども、小郡が今、まだＡＶブースとかは使えないとなっているのですが、あれがどういう状況になったら使えるようになりますよとかいうのが、例えば検査陽性の人が何人とか感染の人が何人とか、そういう、いつになったら条件が整ったらＡＶブース使えますよ、とかいうのはあるのですか。

○中央図書館館長

これは各館で、対応がまちまちですので。各館から1つ1つ言いましょう。

中央は、5月18日から6月15日に関しては5台ともパソコンで映画を見たりするブースがあるのですが、これの間を空けて5が3になっています。

それで、6月19日からは貸し出し、とりあえず全部席は開放したのですけれど、あくまでも1つのブースには1人。

以前の中央図書館の場合は、各部屋みたいになっていたもので、少し状況が、今の状況は、スッカラカンですので、それがやりやすいですけど、もし囲われていたら違うことをしたかもしれません。今の状況であつたら、とりあえず中に1人だけだよということになります。

それであと、ヘッドホンとか貸し出したものに関しましては、戻ってきたら消毒させていただいております。そういう形で行わせていただきますので、AVブースの形状とか、そういうもので若干変わってくると思いますので。

中央はそうにさせていただいております。

○安光会長

さっきもおっしゃった、統一のルールというのはなかなか難しいというところがあるかとは思います。

今の、回答にはなりませんよね。小郡がどうかというのでは。ただ、単館で考えるべきことなのかというと、よくわかりませんが、それについてはどうでしょうか。

○小郡図書館館長

小郡図書館でございます。先ほど、中央が利用できて、小郡は閉鎖をしているということですが、ヘッドホンが結構古くなっており、消毒液で拭くとだんだんと剥がれてきます。

ブースは、部屋として囲われてはいませんが、複数で利用される方もおられますので、そういったところを少し懸念いたしまして、現在は閉鎖している状況でございます。それではどういう状況になれば使えるのかということも、はっきりとは申し上げられませんが、様子を見ながら検討しているところでございます。

○秋穂図書館館長

つづいて、秋穂図書館でございます。

秋穂図書館につきましては、2ブースございます。中央の方からお話がありまして通り、囲みがある形態でございます。材質も鉄から木材といった形で、コロナウイルスがもし付着すると4、5日は生存するということでございますので、それは、紙である本においても同じことなのですけども、いろいろと考えながら、実施しておりますのが、実はブースが大人で2人、子どもさんで小さいお子さんでしたら3人くらい座れるようなベンチ式の椅子になっているのです。よくあるのが、やっぱり友達同士、ちっちゃいお子さん同士でディズニーの映画とか見たいとかいうことで、お申し出があるのですが、現実的にはコロナの関係があるということで、

親御さんにご理解いただきながら、お一人まででしたらOKですよ、というお話をさせていただいております。大体の方は借りて帰られるのですが、どうしてもその場で観たいという方もいらっしゃいますので、そういった場合はお一人での視聴ということで、お願いをしています。

ヘッドホン等につきましても、アルコール配合の清拭剤で少し拭きはするのですが、何分、開館当初からの機器でございますので、クッション素材の部分とか剥げてきたりとかして、なかなか使いにくくなってくるというのもありますので、それが更新できないということになると、これから少し気温も下がってまいりますので、生存期間が長くなってくるということですので、市内の状況下によりますけれども、場合によっては利用中止というのも考えざるをえないかな、というふうには思っております。現実のところはお一人までなら、OKですというお話をさせていただいております。

以上でございます。

○安光会長

はい。では次は阿知須図書館です。

○阿知須図書館館長

はい。どこの館もですけど、館内統一して掲示しているのが、新型コロナウイルス感染拡大防止への協力対応として、3密回避とかエチケットで、密にならないように、また、館内での長時間の滞在は極力お控えくださいというのがございます。

阿知須はインターネット端末のところは間を1つ空けて、2つ検索ができるようにして、その後ろにAVブースがあるのですけれども、そこはやはり密になってしまう等、そういうふうな観点で、今のところは他館と同じように、AVブースのところは控えてもらっています。

以上でございます。

○安光会長

はい。では、徳地。

○徳地図書館館長

はい。徳地図書館につきましては、AV機器は2台ございますけれども、これまでも行列ができるほど利用者は多くございませんので、これまでどおり、利用については「可」というふうにしております。

それで、機器の設置している場所はカウンターから見える通りにありますので、前の利用者が終わればその都度、職員が消毒をして次の利用者に備えるというふうにしております。

以上です。

○安光会長

はい、ありがとうございます。

阿東図書館どうぞ。

○阿東図書館館長

阿東図書館ですが、ブースが2か所ありまして、衝立はあるのですが隣接しています。そういうことで、1か所のみ使用ということで、1か所1人だけということで制限をしております。阿東もそんなに利用者が多くないので、並ぶとか待ってもらふとかいうことは、今、起こっておりません。

以上です。

○安光会長

はい、ありがとうございました。

それで、各館のということで、対応があるということで終わらせていただきたいと思いますけれども、よろしいですか。

○中原委員

小郡でヘッドホンを着けて、ノリノリの方がずっといらっしゃる方がいますよね。ああいう方とか、きつと使えないのを残念に思っらっしゃるだろうなと思いますので、古いから拭けないというようなことがもしあるのでしたら、例えば音質が悪くなるかもしれないけど、カバーをかけるとか、何か対策をされてはいいかなというふうには少し思いました。

○安光会長

はい、ありがとうございます。

では…

○小郡図書館館長

パソコンとCDにつきましては、ヘッドホンを持参すれば利用可にしています。ブースの利用については、長時間利用等の懸念と機器の劣化がありますから現在は利用を控えさせていただいています。

○安光会長

それぞれ、経年劣化もあるみたいですので、それは予算要求で…。せっかくですから、もうだいぶ経っていますから、新しいのをと思ったりするところです。

はい。それでは、まだご質問等々あるかもしれませんが、今日は、以上で終わりたいと思いますけれども、事務局から次回の協議会等々のお話しをお願いいたします。

○中央図書館管理担当主幹

はい。それでは、2点ほどご連絡とお願いをさせていただきたいと思います。

まず、1点目が、次回の協議会の開催の時期についてでございます。例年、特別なことがなければ、例年どおり、3月に開催を予定させていただきたいと思います。

また、事前にご都合をお伺いさせていただいて、日程の調整をさせていただきたいと思いますので、ぜひともご協力のほどよろしくお願いいたします。次年度に向けてのお話しを皆さま方にご協議をいただきたいと思いますと思っているところでございます。

続きまして、もう1点、実は来年度は委員の皆さまの改選の年になるということでございます。本協議会につきましては2年任期でございまして、来年度改選に当

	たるといふこともございますので、また、選任をさせていただくにあたりまして、改めてまたお願いなり、ご相談なりをさせていただきたいと思っております。ぜひともよろしくお願いをいたします。 また、公募委員さんにおかれましては、今回も条例上定めがありますので、公募をさせていただきたいと考えています。その際にはぜひとも積極的にまた応募をしていただきますように、ぜひともよろしくお願いできたらというところでございます。 以上でございます。 ○安光会長 はい、ありがとうございます。 それでは、本日の議事は終了いたしました。これからは、事務局にお戻しいたします。何かありましたら、よろしくお願いします。何かありましたでしょうか。 ○中央図書館サービス担当副参事 無ければ、委員さんの方からも無いようですので、これを持ちまして、第2回協議会は終了でございます。 本日は、会議の円滑な進行にご協力をいただきましてありがとうございました。どうも、ありがとうございました。
	山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040